



吉

みんなのひろば



増山弘壽
(退休寺)

私たち大山町民は、「日本的に優れている郷土大山町」について、昔のようにもつと“誇り”を持つと...と思います。増山式誇りの原点三要素「自然・歴史・人物」。これが高度に結晶している町、大山町。

増山言葉で“伯耆の大学”であったことへの“誇り”。そこから再発した活性化に町民ひとりひとりが結集できたらと思います。日夜、大山を眺め、その“強さ”と静かなる山なみの“優しさ”に生かされている私たちは、感謝の

こころと誇りによって、再びの創造を生み出せるであろう。思えば昔、大山の自然を守るうとの声が出始めたころ、その守る会小西毅先生のものでその末席をけがさせていただいた私としては、それが現在に引き継がれていることに感謝します。農国本・商・工業えて人びと入り来たり、子供たちの声にぎにぎしきふるさと。それを期待して...



久葉テル子
(新坪田)

今年も年女。もう六巡り、いつの間にか来てしまったという感じである。運動が好きで、「たたいても死なぬ」「太い脚で大地に立つ」というのが取りえだったのに、二つともだめになってしまった。今になって思えば、現職時代、運

動が苦手な子、体調に不安を感じている子供たちへ配慮の足りない言動をしていたかもしれないと、反省しきりである。「健康第一」と思い、その大切さも痛感するが、健康ってなんだろう。身体に病気や障害があれば、

それだけで不健康なんだろうか。そんなことはない。今の自分を否定しないで、楽しみや目標を見つけ、それに向かっていっていいばいいのかなと思う。私もスポーツはできなくなったが、楽しみがいっぱいあるので、健康に暮らしていけるのではと思う。「朝夕に 鏡の前で 笑みうかべ」



坂田千寿
(中高)

地区に自主防災会があり、総合防災訓練やAED講習会を受けています。ある日突然、初めてAEDを使用する時がきました。AEDを取り出しかけつけました。看護師をしている娘は胸をは

私は脈を取ろうと手首に手をやりました。講習会の時は、けい動脈で脈を取っていたのに、いざとなると無意識に腕を取っていました。その腕は冷たく脈も測れない状態でした。あわててAEDを開きパットを

付けようとしたのですがパットがはがれませんか。それどころか、パットを少し引きちぎってしまいました。情けない！講習会では冷静に対処していたのに。娘のおかげで救急車が到着するまでがんばりましたが、帰らぬ人となりました。後悔の念のみ残りしました。いざという時、あなたは？どうですか。

あとがき

平成23年をふり返ると、想定外のことが多い年だった。

正月には町内は豪雪となり、国道9号線での大渋滞、農業ハウスの破損、長時間にわたる停電などがあった。3月には、地震、津波による大災害、そして福島原発の事故を招いた東日本大震災が発生した。9月には、台風12号の豪雨と風で本町でも農業・河川・道路に大きな災害をもたらした。タイの大洪水などもあった。地球規模でさまざまな災害が発生した一年であった。

本町も想定外の災害に強い、安全・安心の町にすることが重要である。議会、行政は今後、防災に真剣に取り組まなければならない。

平成24年は災害のないよい年でありませうように。
地田

訂正
26号1ページ
誤「一般会計項目別...」
正「普通会計項目別...」
26号裏表紙(声)
誤「清水覚」さん
正「清水秀弘」さん
お詫びして訂正させていただきます。

- 【発行責任者】
議長 野口 俊明
【広報委員会】
委員長 竹口 大紀
副委員長 大森 正治
委員 西山富三郎
委員 池田 満正
委員 杉谷 洋一
委員 米本 隆記